












ワクチン名	予防できる病気	0歳	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳
不活化ワクチン  <b>B型肝炎</b> (定期)	B型肝炎				1	2								
生ワクチン  <b>ロタウイルス</b> (定期)	ロタウイルス感染症	1価 5価			1	2								
不活化ワクチン  <b>小児用肺炎球菌</b> (定期)	細菌性髄膜炎など 小児の肺炎球菌感染症				1	2	3							
不活化ワクチン  <b>五種混合</b> (定期)	ジフテリア・百日せき 破傷風・ポリオ・ヒブ				1	2	3							
生ワクチン  <b>BCG</b> (定期)	結核								1					
生ワクチン  <b>MR</b> (定期)	麻しん・風しん													1
生ワクチン  <b>水痘</b> (定期)	みずぼうそう													1
生ワクチン  <b>おたふくかぜ</b> (任意)	おたふくかぜ													1
不活化ワクチン  <b>日本脳炎</b> (定期)	日本脳炎													
mRNAワクチン  <b>新型コロナ</b> (任意)	新型コロナ ウイルス感染症													
不活化ワクチン  <b>インフルエンザ</b> (任意)	インフルエンザ													

必要回数を接種するために  
生後2か月になったらすぐに  
同時接種を受けましょう。

1価ワクチンと5価ワクチン  
があります。初回は遅くとも  
生後14週6日までに接種を開始し、  
それぞれの必要接種回数を受けます。

3回目を生後6か月までに  
受けるようにしましょう。

0歳のうちに3回接種が必要  
です。3回目は2回目から  
4-5か月の間隔をあけます。

予防効果を長期にわたって  
維持するために1歳代の追加  
接種を忘れずに受けましょう。

1歳の誕生日がきたら同時接種で  
受けましょう。小児用肺炎球菌・  
五種混合・MR・水痘・おたふく  
かぜの5本を同時接種で受ける  
こともできます。

生後6か月から定期接種として  
受けられます。

ワクチンの種類によって、  
接種スケジュールが異なります。  
事前に最新情報をご確認ください。

毎年、10月から11月ごろに  
接種しましょう。



注射・スタンプ式

**定期** 定められた期間内で受ける場合は、原則として無料(公費負担)。

定期の予防接種の対象年齢

おすすめの接種時期  
(数字は接種回数)



経口  
(口から液体を飲み込む)

**任意** 多くは有料(自己負担)。自治体によっては公費助成があります。  
任意接種ワクチンの必要性は、定期接種ワクチンと変わりません。

任意接種の接種できる年齢



同時接種: 同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は、単独でワクチンを接種した場合と変わりません。  
国や日本小児科学会も乳幼児の接種部位として大腿前外側部(太ももの外側)も推奨しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。

●異なる種類の注射の生ワクチン同士の接種間隔は、最短で4週間です(4週間後の同じ曜日から接種可)。